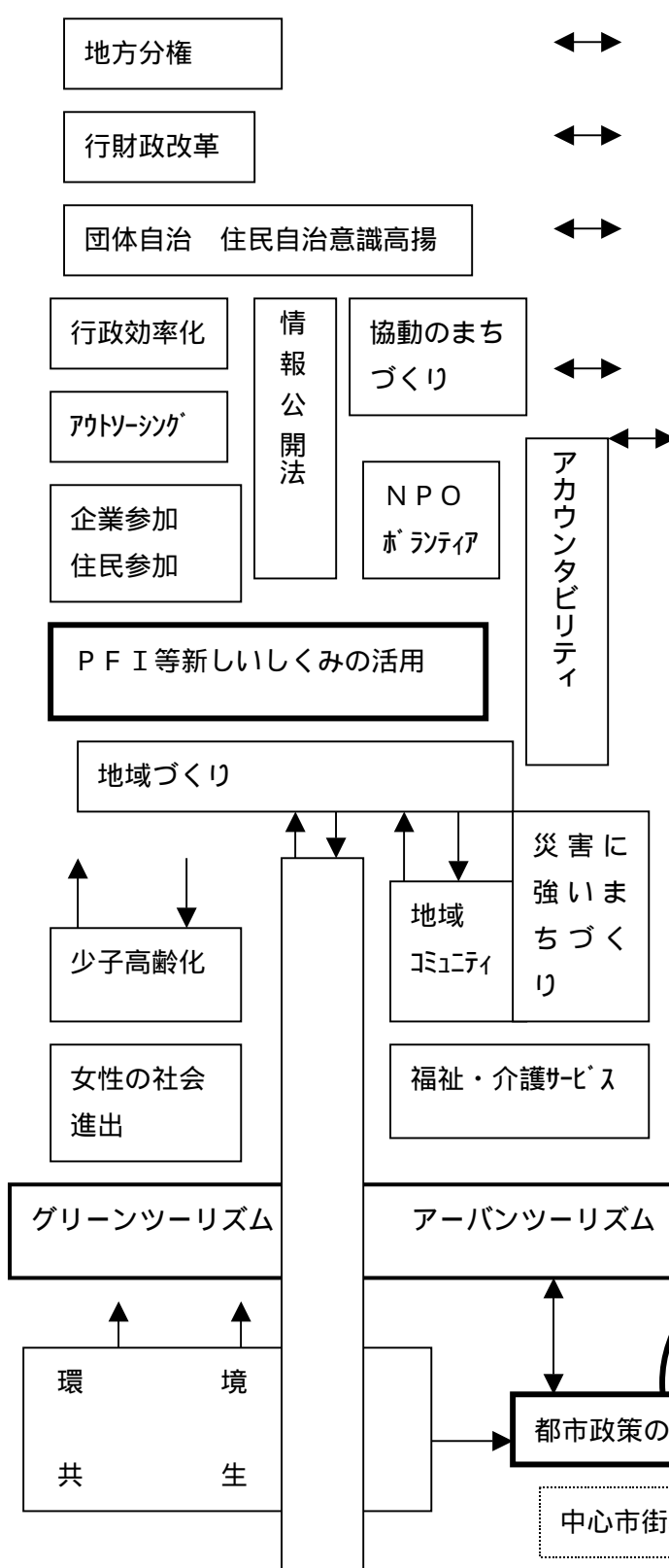


1. 現在の時代環境



2. 東京都の都市づくりの基本的取り組み姿勢

(1) **主体性のある都市づくり**
 1) 都民が共有できる都市づくりビジョンの策定、
 2) 都市づくりビジョンに基づく戦略的取り組みのコーディネート、
 3) 基幹的な都市基盤施設の整備・運営、
 4) 総合的な土地利用コントロールなど、広域的な調整や近隣縣市などとの共同による広域的課題への対応などの役割を果たして行く必要がある。

(2) **公共性の視点の重視**
 (中略) 多様な主体の参加により、都市づくりを円滑に進めていくためには、情報の提供や新しい評価システムの構築、多様な意見を反映する新たな仕組みやルールを整備して合意形成を図ることが重要である。今後、政策誘導型の都市づくりを着実に進めていくためには、改めて都市づくりにおける公共性の視点の重要性を明確にしなが、具体的な政策立案や実現方策の検討を行う必要がある。

(3) **民間の役割の重視**
 都民、企業、NPO等の民間の積極的な参加と連携を促進し、公共との連携を強化していく必要がある。(東京都都市計画審議会都市づくり調査特別委員会「中間のまとめ」<平成12年5月31日>から抜粋)

3. (区市町村) 都市経営の目標

[情報化戦略目標] (例)

- ・ 情報共有のしくみ構築
- ・ 住民との協働のまちづくり

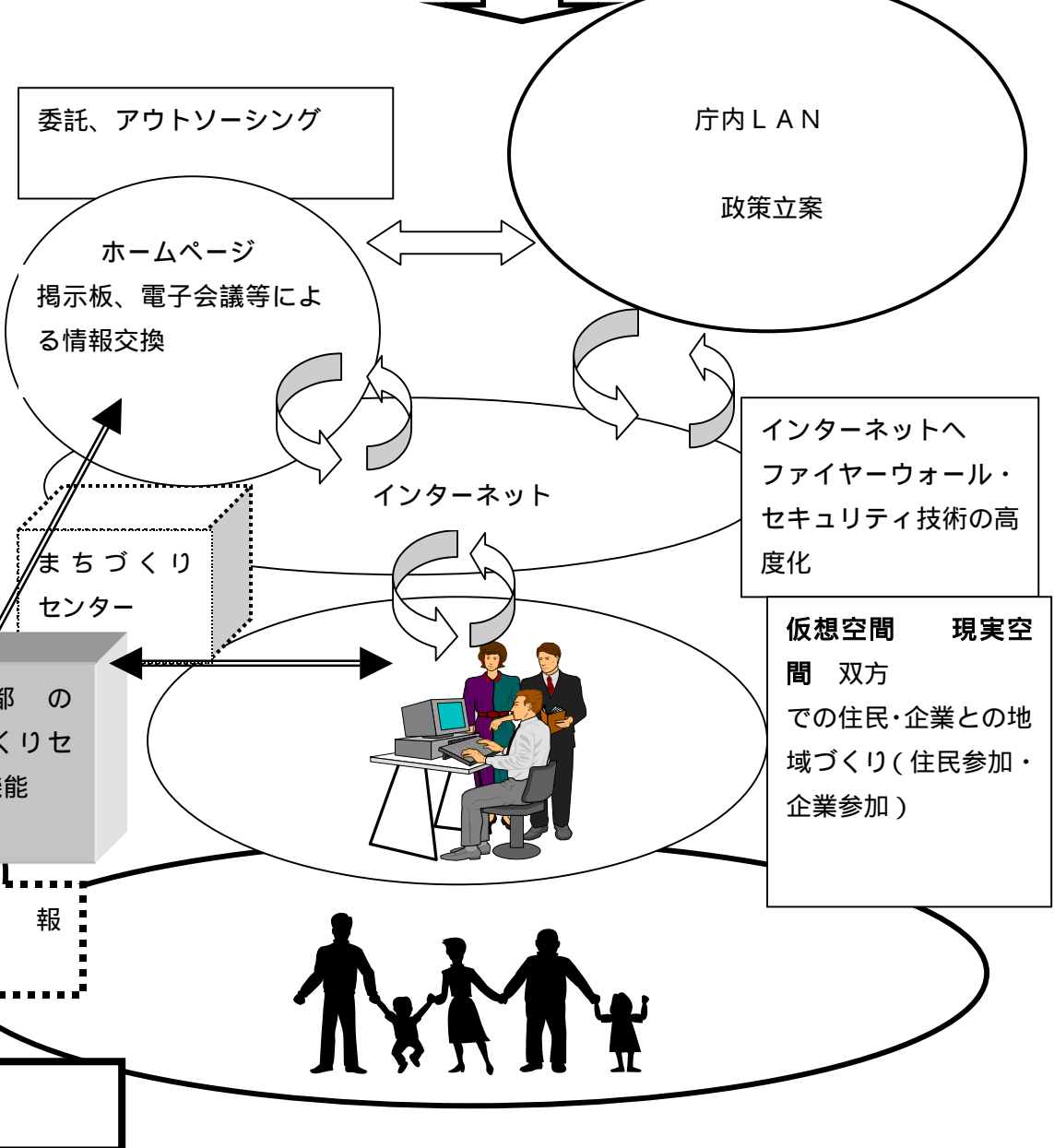
(都市づくりにおける合意形成・意思決定システムの構築)

4. (区市町村) 都市経営上の課題

[情報化戦略実現上の課題] (例)

- ・ 情報収集・インプットのしくみづくり
- ・ 情報公開条例見直し、保管、公開のしくみ等構築(住民参加、企業参加、NPO等による情報活用のまちづくり)

5. イメージ図



グローバル化(グローバルスタンダード浸透)

情報化・ネットワーク化